

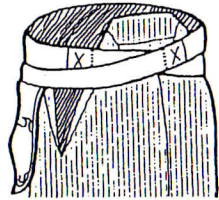
垂れ

つけ方・しまい方

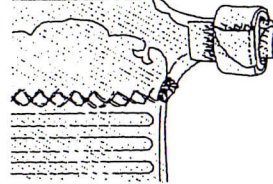
① 正座をして、垂れを腰に置き、紐を回して前で蝶結び。



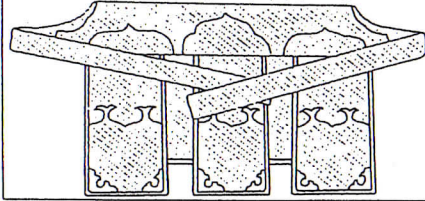
② 腰板を出すこと。



A. くるくる巻く



B. よれていないときは、簡単でも…

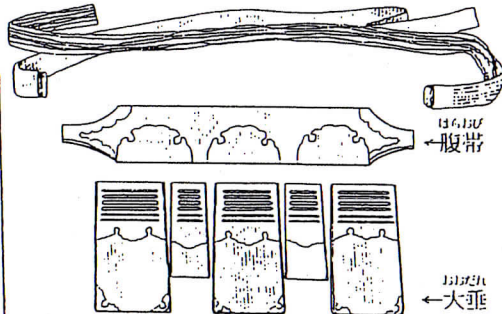


- 紐は平のまま使わないと、よれたところから擦り切れます。ときどきアイロンを当てておく。
- ときどき歯ブラシなどでブラッシングしてください。

垂れ

しくみ

○ 縫い目を解くと…



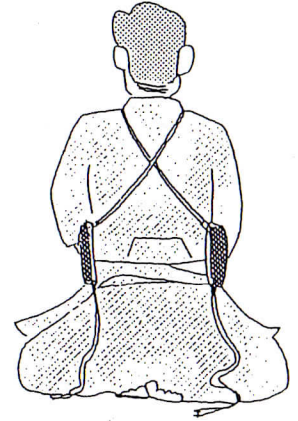
○ へりを巻いて縫い、垂れを作っています。これを腹帯に縫いつけてあります。



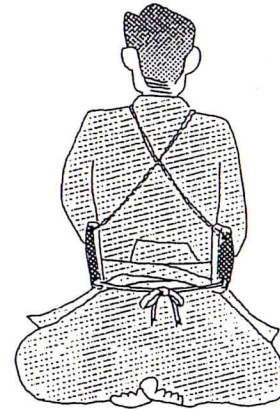
胴

つけ方-1

① 正座して、胴を腰に置き、後ろから胴紐を交差して回して、胴の乳革に結ぶ (結び方は次ページ以降)



② 胴の下側の紐を蝶結びします。

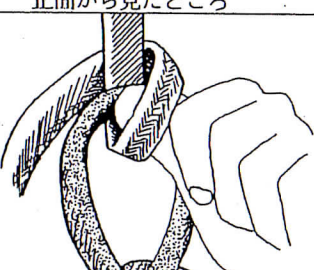

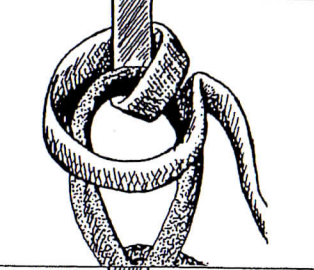
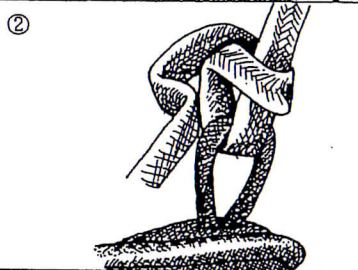
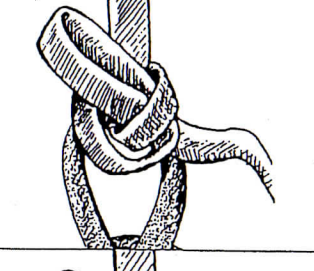
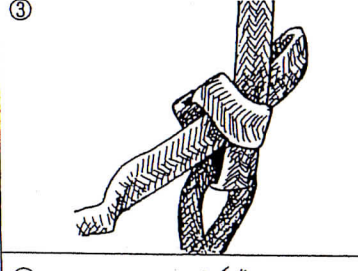
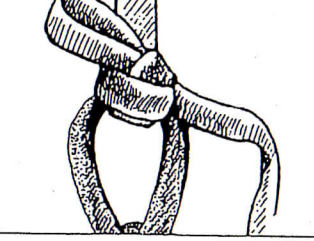
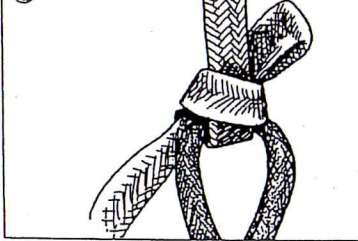


○ 有効打突の部位としてのものなので、動きやすい、正しい位置に付けること。胴を打たれないように、また脇を打たれること、突きのはずれることを恐れて、胴を上の方に付けません。



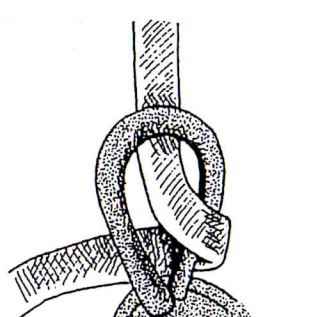
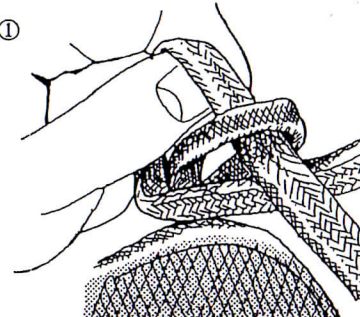
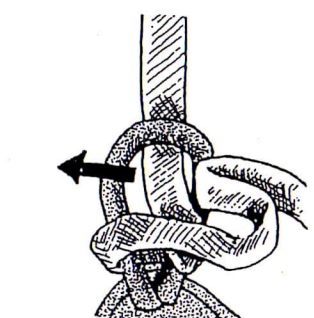
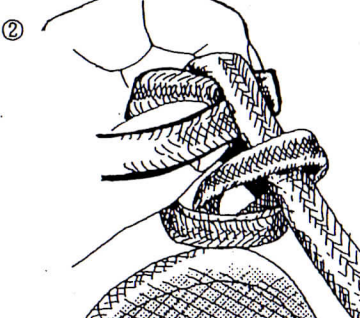
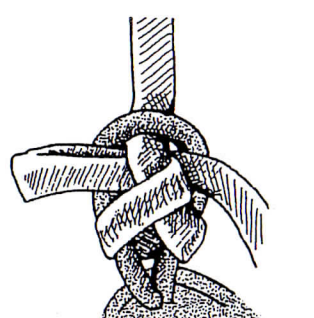
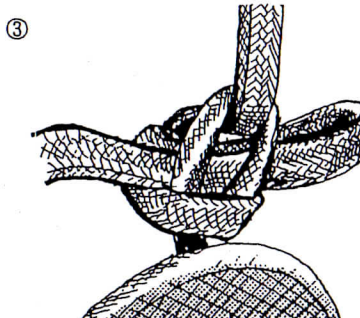
胴 つけ方-2

胴紐の付け方 その1

正面から見たところ	自分から見たところ
① 	① 
② 	② 
③ 	③ 
④ 	④ 

胴 つけ方-3

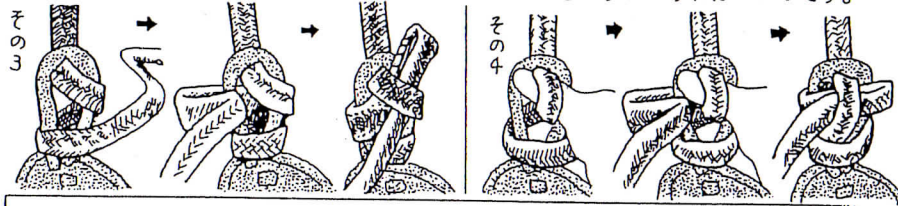
胴紐の付け方 その2

正面から見たところ	自分から見たところ
① 	① 
② 	② 
③ 	③ 

胴

つけ方-4

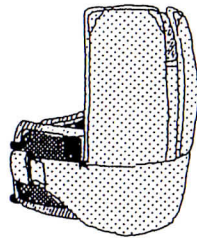
胴紐の付け方は様々あります。調整しやすく、動いてもはずれなければいいのです。



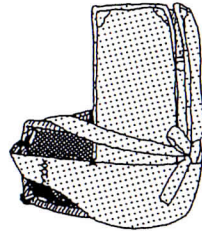
胴

しまい方

① 垂れを胴の上に伏せます。垂れ紐の処理は12ページ参照のもの(ア)と、垂れ紐を軽く結ぶ方法(イ)があります。(垂れ紐はよれると擦り切れやすくなるので、平らにする14ページ参照の方(ア)がお薦めです)。

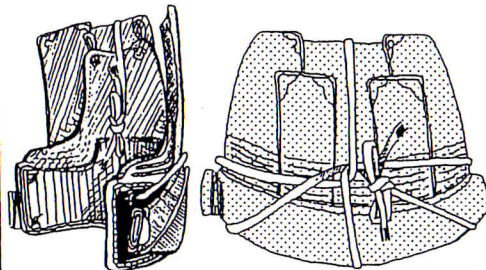


(ア)



(イ)

② 胴紐を軽く括ります。



この他にもたくさん方法があります。

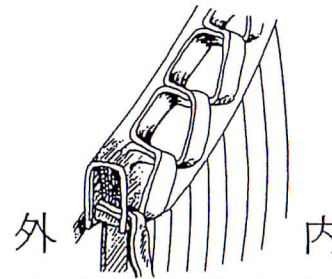
○ 胴の飾光は、ときどき歯ブラシなどで掃除します。



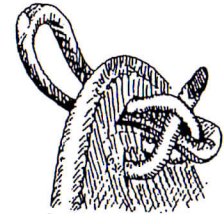
胴

しくみ

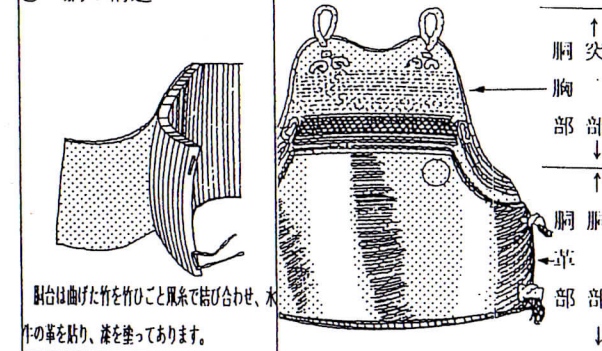
○ 胴と胸は2本の紐で綴じてあります。



○ 乳革の取り付け方(左右で向きを変えます)。

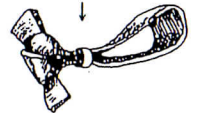


○ 胴の構造

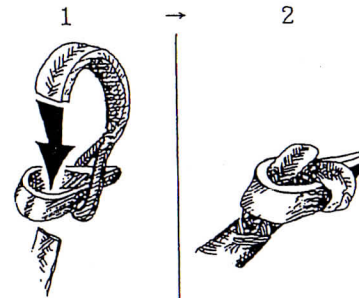


○ 胴横乳革の付け方①

胴台の穴



○ 胴紐の付け方



○ 胴横乳革の付け方②

